

## 第3学年 社会科学習指導案

指導者 ○○ ○○

### 1 単元 「地域の安全をまもる」 小単元「火事からまちを守る」

#### 2 単元について

本小単元は、地域社会における災害の防止について、見学・調査したり、資料を活用したりして調べ、関係機関は相互に連携し、緊急に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して、災害の防止に努めていることなどを理解する。そして、施設や設備などの配置、緊急時の備えなどに着目して関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連やそこに従事している人々の働きを考え、表現することをねらいとしている。事例として、京築広域圏消防本部京都分署や地域の消防団を取り上げる。京都分署は、校区内にあり、実際に見学もしやすい。したがって、子どもの興味関心を高め、意欲的に学習に取り組むことができる教材であると考え。災害からまちを守るために強い信念をもって仕事をしている消防署の方々の話を聞いたり、普段気付かない学校や地域の消防設備や防火の工夫、地域の人々が参加する消防団の活動などを調べたりする活動を通して、地域の安全を守るために大切なことや自分自身の安全を守るために心がけるべきことを考えることができる教材であると考え。

本学級の児童は、1学期の社会科学習の中で、学習問題の答えを出すために意欲的に調べ学習に取り組み、知識を増やすことができている。しかし、調べたいことを資料から読み取り考える力と調べたことをわかりやすくまとめたり発表したりする力はまだ不十分である。消防に関する事前アンケートでは、発生時の仕組みや火災を防ぐための取組についての知識も不十分であり、消防団について知っている子は、ほとんどいない。学習の進め方については、これまでの既習内容や考え方をを用いて自力解決への見通しをもち、掲示物や資料を基に自分の考えを表現する学習活動を経験しているものの、根拠を基に理由付けし、自分の考えを表現する力は十分に育っていない。

指導にあたっては、「出会う」段階では、学校での避難訓練の様子をふり返り、「消防署は、どのように火事からまちを守っているのだろう。」という学習課題を設定していきたい。また、学校で火事が発生したことを想定し、消防署の働きを取り上げることで、火災から安全を守る働きについて調べていこうとする意欲をもたせる。「追究する」段階では、消防署の設備やそこで働く人々の工夫を調べる活動を通して、火事に対する通信システムがあることを知り、様々な機関が関係していることに気付かせる。さらに、学校の中の消防設備や、学校の周りの消防設備を調べ、白地図にまとめる。また、消防団などの取組について調べることを通して、消防署以外に地域に消防団があることを捉えさせる。「生かす」段階では、消防署の働きについて、消火と防火の面からまとめ、その内容から考え、標語に表現する活動を通して、火事から自分やまちの安全を守るために大切なことについて話し合い、本単元をまとめる。

#### 3 単元の目標

- 消防署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめることができるようにする。 (知識及び技能)
- 消防署など関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現することができるようにする。 (思考力・判断力・表現力等)
- 消防署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)

#### 4 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>・消防の施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>・調べたことをノートや模造紙等にまとめ、消防署など関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災防止に努めていることを理解している。</p>	<p>・消防の施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。</p> <p>・消防の仕組みや地域の人々の諸活動を関連付けて、相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>・地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>・学習したことを基に地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えようしたり、安全を守るために日頃から心がけるべきことを選択・判断しようしたりしている。</p>

#### 5 単元計画（10時間）

段階	時	目標	学習活動	評価規準
出会う	1	学校での避難訓練を想起させたり、町内の消防署の分布図を読み取らせたりすることを通して、消防署が町内に2カ所ある理由を考えることができる。	○学校での避難訓練の様子をふり返る。 ○町内の消防署の分布図を読み取り、わかることをまとめる。	町内の消防署の分布図を読み取り、町内に2カ所ある理由を考え、表現している。 【思・判・表】
	2	学校で火災が発生したことを想定し、消防署の働きを取り上げて学習問題をつくり、学習の計画を立てることができる。	○火災への対応をもとに学習問題をつくり、それについて予想しながら学習計画を考える。	学校で火災が発生した時の対応を取り上げて学習問題をつくり、表現している。 【思・判・表】 消防の働きを調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。【態度】
追究する	3	消防署を見学して消防自動車や防火服などに着目し、それらの設備や消火活動について捉えることができる。	○消防署を見学して、消防自動車や防火服、迅速な出動の工夫などについて調べる。	消防署を訪ね、消防自動車や設備などを調べたり、職員の仕事についてインタビューしたりして必要な情報を集めている。【知・技】
	4	火災に対する消防署や関係機関の働きに着目して、互いに連携して行動していることについて捉えることができる。	○119番の電話はどこにつながり、火災に対してどのような機関と連携・協力しているのか調べる。	119番の通報のしくみを捉え、緊急時における関係機関との連携や協力について理解している。【知・技】
	5	消防署での日常的な仕事に着目して、設備の点検や出動に備えた訓練などに取り組んでいることについて捉えることができる。	○消防や救助の仕事をする人の話を聞いたり勤務時間の表を読み取ったりして、火災が発生していない時の消防署の仕事について調べる。 <b>思考モデル</b> 【主張】 消防署の努力や工夫 【根拠】 見学して見つけた消防設備や消防署員の話	消防署員の日常的な仕事や、職員の勤務体制について理解している。【知・技】  消防署の努力や工夫について、見学して見つけた消防設備や消防署員の話の基に考え説明している。 【思・判・表】

追究する			【理由付け】 何のために、その仕事をしているのか。 ・消火・防火・避難	
	6	学校の消防設備を調べる活動を通して、配置の場所や数について捉えることができる。	○学校の消防設備を調べて配置図にまとめる。	学校の消防設備について、設置場所や役割を理解している。【知・技】
	7 本時	学校の消防設備に着目して、それらの役割や計画的な配置、火災の際の消防計画が立てられていることについて捉えることができる。	○学校の消防設備が、適切に配置されている理由について考え、説明する。 思考モデル 【主張】 消防設備は、どこに必要なのか 【根拠】 配置図から着目した消防設備があった場所や数、役割 【理由付け】 その場所に消防設備があるよさ	学校の消防設備がある場所や数、役割に着目して、消防設備が置かれている場所には理由があることを説明している。 【思・判・表】
深める	8	地域の消防設備に着目して、それらの役割や配置、消防団などの活動について捉えることができる。	○地域にある消防設備を調べて白地図にまとめる。 ○消防団の取り組みについて調べる。	地域の消防設備について、設置場所や役割を調べるとともに、消防団など地域の人々は消防署と協力して火災に備えていることを理解している。【知・技】
	9	学習内容と学び方をふり返り、消防署の働きについて整理・分析し、標語に表現することができる。	○消防署の働きについて、消火と防火の面からまとめ、標語に表現する。	火事からまちを守る働きについて、関係機関の連携を中心に関係図にまとめ、大切だと考える内容を標語に表現している。【思・判・表】
	10	火事から自分やまちの安全を守るために、大切と考えることや行動に向けた意識をもつことができる。	○火事から自分やまちの安全を守るために大切なことについて話し合い、学習内容を根拠として考え、説明する。	地域社会の一員として自分たちにも協力できることや、自分自身の安全を守るために心がけるべきことを選択・判断して表現している。 【思・判・表】

## 6 本時（7/10時）

### ○ 主眼

学校の消防設備の役割を考えることを通して、消防設備が置かれている場所には理由があることを説明することができる。

### ○ 準備 学校の消防設備の配置図、ホワイトボード、ワークシート、学校の消防計画

### ○ 展開

過程	学習活動	○手立て【】評価
見通しをもつ	1 前時学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。	○ 学校の消防設備について、配置図を基に振り返らせ、本時学習のめあてをつかませる。
	(めあて) 学校の消防設備がなぜその場所にあるのか考えよう。	
		【評価のものさし】 配置図から消防設備の場所や数に着目する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">考えをもつ</p>	<p>2 消防設備について確認し、解決の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防設備のあった場所</li> <li>・消防設備の数</li> <li>・消防設備の役割</li> </ul> <p>3 学校の消防設備について考える。</p> <p><b>【根拠を基に考えを表現する活動】</b></p> <p>(1) 消防設備が置かれている場所には、どのような意味があるのか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【期待する児童の表現】</b> 消火器は、それぞれの階のいろいろな場所にはないといけません。消火器が、いろいろな場所にあると、火事が起きた時に、すぐに取りに行けるからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【期待する児童の表現】</b> 防火扉は、それぞれの階の階段の所にはないといけません。防火扉が閉まって、煙や炎が他の場所に広がらないからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【期待する児童の表現】</b> 熱感知器は、それぞれの教室にはないといけません。熱感知器が動いて、音で周りに伝え、早く避難できるからです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の手がかりをつかませるために、配置図をもとに消防設備の数や位置、設備の役割に着目させることで、置かれている場所に理由があることを意識させる。</li> <li>○ 思考の流れを確認し板書に整理することで、論理的に考えられるようにする。</li> <li>○ 「思考モデル」を用いて考えをつくらせることで、消防設備が置かれている場所の理由を捉えさせる。</li> <li>○ 配置図と消防設備の役割を関連付けて考えさせることで、置かれている場所には意味があることを捉えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(主張) 消防設備は、どこに必要なのか (根拠) 配置図から着目した消防設備があった場所や数、役割 (理由付け) その場所に消防設備があるよさ</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">考えを広げ深める</p>	<p>(2) 思考モデルを用いて考えを交流する。 (ペア交流→全体交流)</p> <p>(3) 交流を基に、消防設備について整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 視点を示して交流させることで、共通点や相違点を見出させる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価規準】 (思・判・表)</b> 学校の消防設備がある場所や数、役割に着目して、消防設備が置かれている場所には理由があることを説明している。</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">考えを振り返る</p>	<p>4 本時学習をまとめ、振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(まとめ) 学校の消防設備は、早く避難、早く火を消す、火事を広げないために、考えて置かれている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出された考えのポイントをキーワード化し整理することで、まとめにつないでいく。</li> <li>○ どの階にも同じ消防設備があることに気付かせることで、法やきまりに基づいて、計画的に配置されていることを捉えさせる。</li> <li>○ 振り返りシートを用いて、「評価のものさし」をもとに学習を振り返らせることで、学校の消防設備の役割について考えを深めることができるようにする。</li> </ul>

